



## 平成30年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月10日

上場会社名 ショーボンドホールディングス株式会社  
 コード番号 1414 URL <http://www.sho-bondhd.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸本 達也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役広報管理部長 (氏名) 東城 俊哉

TEL 03-6892-7101

四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	44,968	11.5	9,198	4.2	9,392	4.5	6,253	4.1
29年6月期第3四半期	40,321	3.4	8,830	1.8	8,991	1.5	6,006	4.3

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 7,313百万円 (8.2%) 29年6月期第3四半期 6,758百万円 (39.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	232.35	
29年6月期第3四半期	223.19	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	90,155	72,751	80.7
29年6月期	84,266	69,243	82.2

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 72,751百万円 29年6月期 69,243百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		40.00		64.00	104.00
30年6月期		50.00			
30年6月期(予想)				74.00	124.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成30年6月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当64円 記念配当10円

詳細は平成30年5月10日発表の「記念配当(ショーボンド建設株式会社創立60周年記念)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,800	10.4	10,600	4.3	10,850	3.2	7,300	4.3	271.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期3Q	28,372,590 株	29年6月期	29,102,590 株
期末自己株式数	30年6月期3Q	1,458,080 株	29年6月期	2,187,919 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期3Q	26,914,593 株	29年6月期3Q	26,914,751 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年7月1日～平成30年3月31日）における当社グループの連結業績につきましては、引続き高速道路会社からの受注が増加し、受注高は前年同期比41億66百万円増の528億79百万円となりました。売上高は高速道路会社案件に加えて国からの期首受注残高の多くが完工したことで、前年同期比46億46百万円増の449億68百万円となりました。また、期中受注高が売上高を上回ったことにより、受注残高は前年同期比68億6百万円増、期首受注残高より79億11百万円増の402億79百万円となりました。受注残高に占める高速道路会社の比率は約60%まで上昇しました。高速道路会社からの受注工事は大型工事が多く、翌期以降、複数年で売上高が計上される工事が積み上がっています。

損益につきましては、売上高が増えたことにより、営業利益は前年同期比4.2%増の91億98百万円、経常利益は前年同期比4.5%増の93億92百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4.1%増の62億53百万円となり、増収増益の結果となりました。

各セグメントにおける、受注実績、売上実績及び受注残高は次の通りです。

#### 受注実績

(単位：百万円)

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)
国内建設	46,860	50,862 ( 8.5%)
その他	1,851	2,016 ( 8.9%)
合 計	48,712	52,879 ( 8.6%)

(注) 表中の百分率は、対前年増減率

#### 売上実績

(単位：百万円)

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)
国内建設	38,469	42,951 ( 11.6%)
その他	1,851	2,016 ( 8.9%)
合 計	40,321	44,968 ( 11.5%)

(注) 表中の百分率は、対前年増減率

#### 受注残高

(単位：百万円)

区 分	前第3四半期連結会計期間末 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成30年3月31日)
国内建設	33,472	40,279 ( 20.3%)
その他	—	— ( —%)
合 計	33,472	40,279 ( 20.3%)

(注) 表中の百分率は、対前年増減率

### (2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度末より58億89百万円増加し、901億55百万円となりました。これは主に、現金預金が減少したものの、受取手形・完成工事未収入金等が増加したためです。

負債は、前連結会計年度末より23億82百万円増加し、174億4百万円となりました。これは主に、支払手形・工事未払金等、及び電子記録債務が増加したためです。

純資産は、前連結会計年度末より35億7百万円増加し、727億51百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加、及び配当金の支払があるものの、それを上回る親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したためです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成30年2月9日に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	18,073	10,473
受取手形・完成工事未収入金等	17,540	32,482
有価証券	12,452	10,655
未成工事支出金	122	161
その他のたな卸資産	672	904
繰延税金資産	181	403
その他	909	896
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	49,937	55,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,049	2,845
機械装置及び運搬具（純額）	98	107
工具、器具及び備品（純額）	104	92
土地	8,608	8,286
建設仮勘定	37	277
有形固定資産合計	11,898	11,609
無形固定資産		
のれん	918	844
その他	129	111
無形固定資産合計	1,048	955
投資その他の資産		
投資有価証券	18,725	19,280
退職給付に係る資産	433	468
繰延税金資産	153	157
その他	2,101	1,752
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	21,381	21,626
固定資産合計	34,328	34,192
資産合計	84,266	90,155

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,462	5,389
電子記録債務	2,855	3,799
未払法人税等	1,923	1,729
未成工事受入金	1,720	1,724
賞与引当金	—	655
役員賞与引当金	212	—
完成工事補償引当金	77	87
工事損失引当金	17	26
繰延税金負債	1	—
その他	1,765	1,882
流動負債合計	13,036	15,294
固定負債		
繰延税金負債	440	667
土地再評価に係る繰延税金負債	323	323
完成工事補償引当金	203	150
役員退職慰労引当金	9	12
退職給付に係る負債	944	898
その他	64	57
固定負債合計	1,985	2,109
負債合計	15,022	17,404
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	36,013	34,762
利益剰余金	33,243	35,692
自己株式	△3,748	△2,499
株主資本合計	70,507	72,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,376	2,712
土地再評価差額金	△3,500	△2,764
為替換算調整勘定	△6	△11
退職給付に係る調整累計額	△133	△140
その他の包括利益累計額合計	△1,263	△203
純資産合計	69,243	72,751
負債純資産合計	84,266	90,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	40,321	44,968
売上原価	29,102	33,209
売上総利益	11,218	11,759
販売費及び一般管理費	2,388	2,560
営業利益	8,830	9,198
営業外収益		
受取利息	54	60
受取配当金	57	56
受取保険金	13	34
受取賃貸料	34	35
その他	22	21
営業外収益合計	182	209
営業外費用		
支払手数料	5	5
賃貸費用	6	6
その他	8	3
営業外費用合計	20	15
経常利益	8,991	9,392
特別利益		
固定資産売却益	33	66
投資有価証券売却益	212	—
その他	26	2
特別利益合計	271	69
特別損失		
完成工事修補費用	180	164
減損損失	152	28
その他	0	1
特別損失合計	333	194
税金等調整前四半期純利益	8,930	9,267
法人税、住民税及び事業税	3,041	3,158
法人税等調整額	△117	△145
法人税等合計	2,923	3,013
四半期純利益	6,006	6,253
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,006	6,253

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	6,006	6,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	815	336
土地再評価差額金	△38	736
為替換算調整勘定	10	△5
退職給付に係る調整額	△36	△7
その他の包括利益合計	751	1,060
四半期包括利益	6,758	7,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,758	7,313
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

偶発債務

前々連結会計年度において当社の子会社であるショーボンド建設株式会社及びその子会社が施工した橋梁補修工事で使用した落橋防止装置の部材に一部溶接不良があることが判明し、調査及び修補に伴う費用のうち当第3四半期連結累計期間に発生した費用164百万円を完成工事修補費用として特別損失に計上しています。

なお、将来発生が合理的に見込まれる調査費等で当第3四半期連結会計期間末において完成工事補償引当金に計上されている金額は150百万円であります。

一方、製造に起因する不良が判明した場合、その調査・修補費用については製造会社に求償することとしており、製造会社からの回収の都度、特別利益に計上しております。

しかしながら、今後数年間調査の過程で新たに修補費用が発生する可能性があり、また製造会社からの回収状況により、連結業績に影響が生じる可能性があります。その時期及び金額等については現時点では合理的に見積もることが出来ないため、その影響を四半期連結財務諸表に反映していません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
(1)外部顧客への売上高	38,469	1,851	40,321	—	40,321
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1,507	1,507	△1,507	—
計	38,470	3,358	41,829	△1,507	40,321
セグメント利益	8,134	652	8,787	42	8,830

(注)1 「その他」には、「海外建設」、「製品製造事業」を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次の通りです。

(単位:百万円)

	金額
セグメント間取引消去によるもの	190
セグメントに配分していない全社費用(注)	△146
その他の調整額	△1
計	42

(注) グループ全体の経営管理に係る一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内建設」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を特別損失に計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において152百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
(1)外部顧客への売上高	42,951	2,016	44,968	—	44,968
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1,604	1,605	△1,605	—
計	42,951	3,621	46,573	△1,605	44,968
セグメント利益	8,470	702	9,173	25	9,198

(注)1 「その他」には、「海外建設」、「製品製造事業」を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次の通りです。

(単位:百万円)

	金額
セグメント間取引消去によるもの	190
セグメントに配分していない全社費用(注)	△166
その他の調整額	0
計	25

(注) グループ全体の経営管理に係る一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内建設」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を特別損失に計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において28百万円であります。